

三田4・5丁目・高輪  
白金・白金台

発行：高輪地区総合支所 協働推進課  
編集：みなとつぷ編集室



<http://www.city.minato.tokyo.jp/takanawachikusei/takanawa/koho/saishin.html>



### CONTENTS

#### 2 街が変わる

「HUG高輪」がオープン！

#### 3 この街にこの人あり

友枝 昭世さん  
(能楽師・人間国宝)



#### 4 地域のあしあと

高輪地区に見られる祠

#### 6 私だって地域の三員！

いつの間にか大家族

#### 6 ただいま夫婦で

子育て中

育児のポイント

#### 7 熊本地震を体験して

福岡 稔さん  
(東海大学熊本校舎教授)

#### 8 区からのお知らせ

子ども記者募集！ など

### 「みなとつぷ」30号！

「みなとつぷ」30号、何でもきりのよい数字は気持ちがいいですね。私は1号から編集に携わって早10年になります。

最初は、地域のことを伝えたいと軽い気持ちで参加しましたが、編集作業は思っていたより大変で、悩むことが多かったです。その一方、地域とふれあえる楽しさは、得がたいものでした。この10年、「みなとつぷ」との係わりが自分の生活の一部になってしまったような気がします。

取材を通して、いろいろな方にお話をうかがうと、生き方や地域への思いなど、学び、教えられることばかりでした。また、取材する場所を訪れると、こんな素晴らしい場所があったのか、こんな面白い歴史があったのか、地域の持つ魅力の深さに驚きます。

印刷されてできあがった「みなとつぷ」に接する時の喜びは格別ですが、その一方、限られた紙面の中で取材した時の感動を上手に表現できないこともあり、反省しきりです。

最初の頃は「みなとつぷ」の認知度も低く、読者の関心も薄かったようですが、編集スタッフの熱意、努力が実ったのか、認知度、関心も高くなり、部数も増え4万部に達しています。公共施設や駅などに置かれた情報紙は、すぐに補充が必要になるとのことです。読者の感想の声も聞こえるようになりました。一番うれしかったのは、何人かの読者から「この情報紙、温かい心があるね」と言われたことでした。これこそ区民が積極的に参加している活動の成果ではないでしょうか。

「みなとつぷ」は地域と高輪地区総合支所との協働で作成されますが、協働作業がとてもうまくいっている例だと思います。担当職員の方は、熱意を持って取り組んでおられ、細かな文章の表現など、我々が苦手な部分を上手に補っていただいています。

高輪地区は記事になる素材は多くありますので、いかにわかりやすく魅力的に読者に伝えることができるか、これからも編集スタッフ一同、一層努力していきたいと思えます。

表紙写真 厳島観月能  
曲名「八島(やしき)」  
〔演者〕能楽師 友枝 昭世さん(白金台在住)

(担当)安藤



# 街が変わる



桜の木を取りこんだ外観

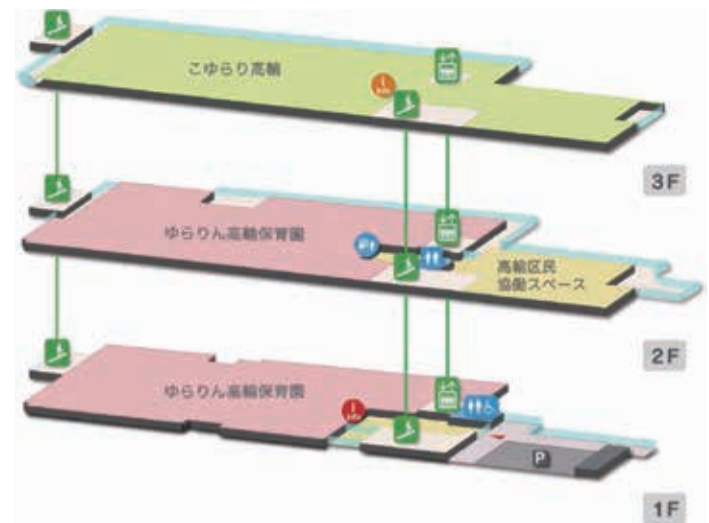
## 「HUG高輪」がオープン!

平成28年4月、高輪一丁目に、素敵な外観の「HUG高輪」がオープンしたので、早速事業者の方にお話をうかがいました。

HUGには「育む」と「抱きしめる」の意味が込められています。

1、2階が認可保育所「ゆらりん高輪保育園」、2階の一部に高輪区民協働スペース、3階が小規模多機能型居宅介護「こゆらり高輪」となっています。このような複合施設は港区では初めてだそうです。

「ゆらりん」、「こゆらり」はライフサポート株式会社が運営・管理し、区民協働スペースは高輪地区総合支所が管理します。



【ゆらりん】カラフルな階段室



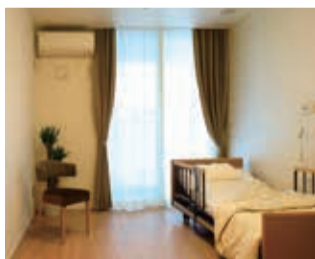
【ゆらりん】保育室

## 事業の進め方

この事業の一番の留意点は、静かで緑の多い住宅地と保育園等複合施設をいかに共存していくかでした。そのためには、港区、事業者、近隣住民との合意形成が必須でした。近隣住民からは日照の確保、敷地内の桜の木の保存、騒音を最小限にする、周囲の景観との調和などの要求が出され、近隣住民、高輪地区総合支所、事業者、設計者がお互い納得がいくまで説明会や協議を重ね、何度も設計を変更しました。建設後もお互い協議することを条件に最終的に合意しました。完成予想図を看板に掲げるといった住民からの要求も実行されました。また、区民協働スペースについては、区民利用者とも協議し、設計に反映しています。事業の進め方、住民との合意形成のあり方は、公共施設建設の一つのモデルとなるのではないのでしょうか。



高輪区民協働スペース



【こゆらり】個室



【こゆらり】デイスペース

## 今後の使われ方

保育園、介護施設と静かな住宅地の共存は、これから騒音など様々な課題が発生する可能性があります。地域住民、港区、施設管理者が話し合い、手を取り合って、課題を解決していくことを願っています。また、このような多世代が同居する施設の利点を活かし、例えば多世代に喜ばれる朗読、手品などのイベントを区民協働スペースで開催できれば楽しい施設になるのではないのでしょうか。

## 建物の概要

### ・外観

大きな勾配屋根、クリーム色の外壁、桜の木を取りこんだ外観は緑の多い周囲の住宅地の環境と調和し、モダンで明るい雰囲気を持っています。

### ・認可保育所「ゆらりん高輪保育園」

認可保育所「ゆらりん高輪保育園」は生後57日から未就学児までの子ども101名を預かります。

園児が楽しく遊べるように、カラフルで曲線を多く使い、夢のある内部空間になっています。また、園児が安心して過ごせるよう、壁の角に丸みを持たせたり、収納の扉に工夫がされたりして、安全性に十分に配慮されています。また、年齢別に部屋が分かれており、年齢に合った内部空間となっています。

### ・高輪区民協働スペース

高輪区民協働スペースは、区と協働して行う地域課題解決のための活動や公共的・公益的な活動を行う区民の団体が利用できます。

高輪地区CCクラブと高輪地区総合支所が共催しているコミュニティ・カフェ高輪の運営もできるように、サービスカウンターやミニキッチンが設置され、今までの区民協働スペースの会議室としての利用に加えて、お茶やコーヒーを飲みながらつるぐ空間にも利用できます。

### ・小規模多機能型居宅介護「こゆらり高輪」

小規模多機能型居宅介護「こゆらり高輪」は自宅に居住しながら「訪問」、「通い」、「泊まり」の介護サービスが受けられる施設で、近隣にお住みで要支援1以上、要介護1以上の方が利用できます。「通い」サービス定員15名、「泊まり」サービス定員9名です。

食事やくつろぎの場であるデイスペースと個室により構成されています。デイスペースは勾配屋根の明るい広い共同空間となっています。個室は住宅の個室のように泊まって快適に過ごせるスペースとなっています。また、共同で使う浴室、トイレも容易に介護が受けられるよう最新の設備が備えられています。

## 設計者から一言

うえ がい と しん いち  
上垣内伸一氏

建築設計というのは、様々な条件や希望・想いのバランスをとって、たった一つの結果にまとめ上げる行為です。誰にとっても100点満点というわけにはいきませんが、あらゆる関係者の皆様の前向きで地道な対話と相互理解に支えられ、仕事を成し遂げることができました。未永く地域に愛される建築となれば、設計者としてはこの上ない幸せです。



## この街にこの人あり

能楽師・人間国宝

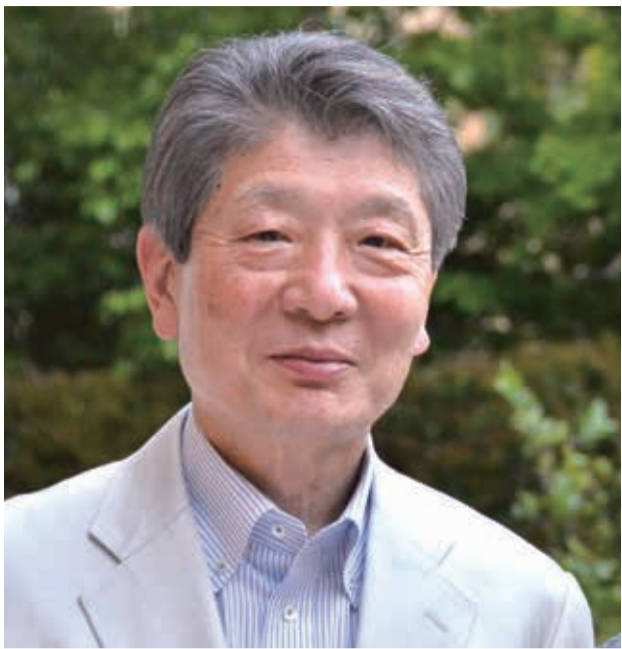
友枝 昭世さん

## 能の鑑賞で大切なことは「感じる」ことです

舞台の上で神々しく舞う人間国宝の能楽師。遠い世界にいるような方が、すぐそこに住んでいらつしやるなんてワクワクしませんか？さて、どんなお話がうかがえたでしょうか？

**熊本がゆかりの地と聞いておられますが、4月の熊本地震でご親戚に災害に遭われた方がおありですか？**

今は親戚は居りませんが、知り合いは多く、心を痛めております。熊本は先祖伝来の地で、能に関わってからも、40年以上になります。私は東京生まれですが、心の故郷です。高校野球では、自然に熊本代表を応援しております。被災地の皆様には心よりお見舞い申し上げます。能を始められたのはおいくつ位でしたか？



【プロフィール】友枝 昭世 (ともえだ あきよ)

1940年3月24日、肥後熊本、加藤家・細川家のお抱え能役者の本座・友枝家に友枝喜久夫の長男として、東京に生まれる。  
1947年、初舞台「鞍馬天狗」花見にて。1950年、初シテ能「西王母」にて。  
1962年、国学院大学文学部卒業。「狸々乱」初演。  
1964年、ニューヨーク高等演劇研究所に招聘され、能楽指導後各地公演（ワシントン・ボストン・シカゴ）。  
1995年、「芭蕉」・「井筒」・「野宮」等の演技で第45回芸術選奨文部大臣賞受賞。  
1996年、「友枝会」を父喜久夫没後継承。「友枝昭世 厳島観月能」（厳島神社能舞台にて）を発足。  
2000年、春の紫綬褒章受章。2003年、日本芸術院賞受賞。  
2008年、重要無形文化財（人間国宝）認定。  
2011年、日本芸術院会員に就任。

その教えは、基本。基本です。子ども時代、能の修行で苦勞されましたか？

子どもの頃は先生もあまり厳しくなく、そんなに苦勞した記憶はありませんが、小学生の頃、舞台があり遠足に行けず残念に思ったことはあります。また、声かわりの時に、話に苦勞しました。

**お父様の跡を継いで、能楽師になることに抵抗はなかったですか？**

そんなに抵抗はなかったです。ただ、大学生の頃、結核になり2年稽古を休み、このままで能楽師になれるのだろうかと思んだ時期があります。

**能の鑑賞で大切なことは何ですか？**

能は人間の情念そのものをテーマとしていて、複雑な劇的葛藤を表すものではなく、人間の根元を純粹に抽出するため、極度に表現を切り捨てております。確かに難しい面もありますが、頭で理解することではなく「感じる」ことだと思えます。最初から能の独特の波長を感じることに

が出来る人は少ないと思いますが、何度も見ているうちに、何かを感じることもあると思います。さらに奥が見えてくることがあると思いますので、ぜひ能楽堂に足をお運びください。

**能ではしばしば動かないポーズがでてきますが？**

実は、動かないポーズの中にエネルギーを集中しているのです（独楽が一番回っている時、止まって見えるように）。ただ、動かないだけでは観客は退屈してしまいます。動かない動作の中に、観客に伝える電波を発信するのに苦心しています。

**能面をつけての舞の動作が難しいのはどんな点ですか？**

シテ役（主役）は能面をつけることがほとんどです。能面の中からでは限られた視野しか見ることができません。まわりの状況を十分把握できない中で、舞の動作をするのが難しいのです。熟練と体のバランス感覚が必要ですね。

**今まで公演した中で、一番記憶に残るのはどんな公演でしたか？**

今から20年前、厳島神社能舞台での第1回の夜の公演の時でした。海に浮かぶように見える能舞台が素晴らしくて、緊張感があり神々しい雰囲気の中で、我を忘れ演じることができました。潮が満ちてくる時間に合わせて公演を行います。能は本来野外で行うものだったので、能の舞台としてびたりでした。それから公演は続いて今年で20回になりますが、雨で中止になったのは1回だけです。また3年前、日本最古の能舞台、国宝西本願寺北舞台では近年ほとんど能が演じられていなかったのですが、5人の人間国宝が出演するというので、特別に許可

がおり演じることができました。忘れられない思い出です。

**アメリカ、ヨーロッパなどで公演をされていますね。外国での反応はいかがでしたか？**

最初は東京オリンピックの年、招待を受けアメリカに行きましたが、自分が外国に行きたい気持ちも半分以上でした。アメリカ各地で公演したり、指導したりしました。能のもつ感性が通じたのか、観客のみなさん、ワンダフル！と言って、楽しまれたようでした。外国では、能楽が高く評価され、世界無形文化遺産に指定されています。

**能の衣装は代々受け継がれているものですか？**

戦前からあった装束は、戦災で焼けてしまいました。戦後すぐに作られたものを主に使っています。最近のものより、古い装束の方が舞台に出たときに映え、力がありますね。

**人間国宝になられてどのようなお気持ちでしたか？**

世阿弥の言葉ですが、「命に終わりあり、能には果てあるべからず」。人間国宝に指定された時でも、自分ではまだまだ、超えなければならぬことが多く残されていると思っています。これからもさらに精進しなければと思いました。

**高輪地区には何年位お住みですか？**

もう35年になります。その前は神宮前に25年住んでいました。この場所は妻が選びました。住んでみると住みやすく、とても気に入っています。白金、白金台



曲名「湯谷（ゆや）」

など近くをよく散歩しています。35年前と比べて驚いているのは、犬を連れて散歩している方がすごく増えたことです。人口も増え、住まわれる方も変わってきたのでしょうか。

**後継者はおありですか？**

自分の子どもは2人とも娘なので、妹の子ども（男性）を後継者にしています。昔の能楽師は、大名などパトロンがいたので、能に打ち込むことができた。現在は、公演とアマチュアの方の指導で生活を維持していくことになりました。伝統的な芸能を守っていくには、若い愛好者を増やしていくことが大事ですね。

**ご趣味は？**

家族と食事や旅行をすることです。京都に行くのが大好きです。その他、正座から立ち上がる所作が多いので、膝が痛くなるため時々プールで歩いたりしています。

**取材を終えて**

私生活でもお着物かと思っておりましたが、ジャケットを着こなして颯爽としたお姿。舞台では能面をつけているおかげで、私生活では周りの目を気にせず、素顔でのびのびできる茶目っ気たっぷりにお話しになる楽しい方でした。

（担当／安藤、森、松島、滝川）



### ① 大久保利通公を祀る祠 高輪3-1

この祠は、高輪警察署近く、二本榎中通りのマンションの一角にひっそりと建っている。立派な神社建築の祠は、当該マンション在住の大島美弥子さんの詳細なる調査の結果、明治の元勳大久保利通公(1830-1878)を祀るものだとわかった。

祠については、利通公のひ孫に当たる大久保利泰氏が次のように語っている。

「祠は、利和(利通嫡男)が父の霊を弔うために、青山墓地の方向に向けて建立した(大久保家先祖の墓石に刻まれている左三ツ藤巴紋が、祠と石灯籠に付いている)。祠正面には、利通暗殺時に乗っていた馬車が置いてあったが、1942(昭和17)年倉敷市の寺に寄贈した。石灯籠(一対)は利武(利通三男)が献燈したものと思われる。また、水受けは、1911(明治44)年5月に利和が、鹿児島から墓を移したとき一緒に運び、これだけこちらに置いたと考えられる。」

明治初年、この辺り一帯は大久保山とも呼ばれ、利通公の三万坪(東京ドーム約2つ分)にも及ぶ別荘があった。

当時、廃藩置県等により、主のいなくなった大名屋敷が数多くあり、多少の増・改築はしたと思われるが、この別荘も、それらをそのままに近い状況で使用したのであろう。そしてあたかも利通が首唱する日本の文明開化・殖産興業の実験農業兼公園のような観を呈していたと思われる。

利泰氏がここに住んだのは、1937(昭和12)年頃からで、「1944(昭和19)年頃、空襲により、傍の白金局が焼けないよう大久保家の建物で局に近いところは取り壊された。戦時中は高輪警察の方が留守番をしていた」という。

その後1949(昭和24)年頃この地を受け継いだのは、フランス人のレーマン一家。そのまま、フランス人の感覚で洋風に使っていたようで、床の間にバスタブが置いてあったり、ヒノキの柱にペンキが塗られてあったりと、「日本人として見るに忍びないものがあった」とレーマン邸の取り壊しに関わった棟梁の証言も残っている。

その後様々な経緯を経て、1971(昭和46)年マンションの建築となり、今日まで約50年近い月日が経ったことになる。その間、祠はずっと大久保邸のどこかに存在し、マンション建築の際に、多少動かされ、現在地に落ち着いたものと思われる。

大島さんは、祠は住人の共通財産であり、今後も是非守っていきたくおっしゃっている。



祠と灯籠



祠正面

### 地域のおしあと 高輪地区に見られる祠

祠とは、もともとは田畑や家・町を守る神を祀る小さな社で水田や町、屋敷の一角にあった。神社と違い鳥居はないが、あっても非常に小さい。高輪地区に見られる祠は、江戸時代からあちこちに祀られていたが宅地開発に伴って個人住宅やマンションに祀られるようになった。



大久保家紋 左三ツ藤巴紋



1940(昭和15)年 氷川神社大祭の様子

### ③ 元禄今里地蔵 白金台3-12

港区と品川区の境に近く、人や車の往来が多い辻端に、元禄今里地蔵がある。近所にお住まいで、日頃管理をされている白金今里町協会の町会長鈴木正一さんに伺った。

1915(大正4)年、鈴木さんの祖父(鈴木孝三郎さん)が、200mほど離れた五反田田圃(上大崎1丁目)のあぜ道でお地蔵さまを見つけた。戦前、とび職人はそれぞれ決められた区域の火消しを担っており、とび職人であった祖父は自分の受け持ち区域の人々と親睦会を作った。見つけたお地蔵さまのお社を作りお祀りした。

最初は今の場所から100mほど離れた辻端にあり、氷川神社のお祭りに合わせて毎年縁日が賑やかに開かれたそう。しかし、1945(昭和20)年、戦災復興の道路計画(現在の環状4号線)によって移動を余儀なくされ、三田用水の跡地で丁度空き地になっていた現在の場所に神輿倉ごと移ってきた。お地蔵さまは、現在1933(昭和8)年に建てられた神輿倉にしまわれている。なお、神輿倉にもともとあったお神輿は旧海軍に寄付され、今はない。三田用水が正式に廃止された後、鈴木さんは7坪ほどの現敷地を購入しずっと個人で管理を続けてきた。

お地蔵さまは、発見当時は上部30cmほどしか残っておらず、後から台座が付け加えられた。優しいお顔で、小首を傾げたようなとても愛らしい表情をされている。光背に「元禄十七年…」などの文字が刻まれている。

不審者対策のため神輿倉の扉は通常閉められているが、お地蔵さまの縁日にちなみ毎月4のつく日には開帳しているそう。散歩がてらにお参りする人も見受けられるなど、お地蔵さまは地域のものとしてすっかり根付いており、これからも地域で未永く見守ってほしいと思う。



神輿倉の中のお地蔵さま



赤い前掛けを外したお地蔵さま本尊

### ② 豊川稲荷 三田4-12

伊皿子坂上から聖坂方向に向かって、三田台公園を通り過ぎ、亀塚公園の向かいのビルの間に豊川稲荷がある。現在、隣のビルにお住まいの田中味噌醸造所ご一家が所有、管理されている。1943(昭和18)年頃に高円寺の田中味噌醸造所出張所にあつたお稲荷さんを移築したのが初めようだ。

お社のなかには当初からのご神鏡があり、また、愛知・豊川稲荷と赤坂・豊川稲荷のお札を受け、祀ってある。周囲には1955(昭和30)年からある狐さんと比較的新しい狐さんとお社を守っている。戦時中もこの場で味噌を作っていたそうだが、お稲荷さんは戦災から免れた。

戦後、世の中が落ち着きを取り戻した1955(昭和30)年10月に、先代の田中総吉さんが地元の方に改めて披露し、毎年10月21日にご近所の方と一緒に祝い事をした。1989(平成元)年には現在のお社に改築したが、12年前からはご家族がお社を守っている。現在も、正月には長男の奥様、田中嘉代さんが赤坂へ、5月には次男の田中弘之さんが愛知にお札を受けに行くそう。

周囲はお寺や住宅が多い場所で、時折、雀がお供えのお米を摘まみに来るほのぼのとした祠である。今回、取材させて頂き、ご一家がこのお稲荷さんを守る熱い思いが伝わってきた。



昭和30年に披露された時の様子



現在の鳥居と祠



祠には雀も集まります

### ④ 白金台にある地付き稲荷 白金台3-19

目黒通りを白金台から上大崎へ向かう途中に立体駐車場「白金台パーキング」がある。道路を隔てた向いは庭園美術館、ビルに囲まれたパーキングの敷地の一角にお稲荷さんを祀った祠がある。

現在の白金台パーキング経営者の島田強さんの祖父が昭和の初期、鰻屋を始めるため、この土地を買ったときに既にこの祠があつたそう。「商売繁盛」に大切なお稲荷さんとして祀ってきたが、祭神については、愛知の豊川稲荷にも行き調べたがいわれは分からず、地付きのお稲荷さんとしている。

1979(昭和54)年に鰻屋は他へ移転、跡地を駐車場にした後も、祠はそのまま祀っている。鳥居は1992(平成4)年に改修、屋根も修理したが、石灯籠やキツネの置物など元のまま大切に保存している。祠の前には富士火山の石が置かれ、お参りの人目を引いている。祠の扉は一度も開けたことがなく中に何が祀られているか不明とのこと。定期的にお参りする近所の人、通りすがりにお参りする人の姿もたびたび見受けられる。これからも大切に保存していきたいと島田さんはおっしゃっている。



改修後の鳥居と祠



元のまま保存されているキツネの置物

※上記の祠は、すべて私有地内にありますので、見学の際にはご配慮のほど、お願いいたします。

(担当/伊関、太田、佐藤、本城、吉田、土屋、明石、滝川、戸部田)



# わたしだって地域の一員!

高輪3丁目在住 / 忍田 範子さん

8年前にモルモットを飼い始め、その子の餌や身の回りの物を買いにペットショップに行く回数が増えると、ついつい他の子も欲しくなり、今や大所帯になったと楽しそうな忍田さん。そんな動物好きなところを見込まれて、怪我をしたウサギを里親として引き取って欲しいと頼まれたこともあるそうです。

もともと小動物が好きで、3年前、両親を相次いで亡くし、49日の法要を済ませてすぐに柴犬の翼を迎えました。寂しくて辛くて止まらなかった涙がピタッと止まった時は、犬が持っている不思議な力に感動しました。この他に清正公大祭の金魚もいて、みんな子ども達と私を癒してくれる大事な家族です。



ゴマちゃん

- 大家族ア〜す!!
- ・ハムスター.....3匹
  - ・ウサギ.....1羽
  - ・インコ.....3羽
  - ・モルモット.....2匹
  - ・黒柴犬.....1匹
  - ・他にも(写真はありませんが)・・・デグーマウス2匹と清正公大祭の金魚たち

ベルベットの  
手触りで超気持ちいい  
毛皮なの。



翼くん



ハッピーちゃん

ゴニョゴニョと  
人間語らしき発音をするけど  
まだしゃべれないの。



きなこちゃん

無防備な寝姿が  
かわいいの。



モルコちゃん

モフコちゃん

冷蔵庫を開けると  
お野菜をもらえると思って  
「キューーキューー」と鳴くよ。

何度もケージから  
脱走して掃除機を  
壊したこともあるよ。

(担当/森、佐藤)

ただいま

## 夫婦で子育て中



港区の出生率は東京都では江戸川区と並んでトップクラス。子どもの医療費、出産手当、幼稚園の補助金も好条件。子育てをする若い世代にとっては公園や施設も多く魅力的だと感じている事を、前回まで見てきました。今回、港区内で長年幼児教育に携わってこられた、みなと幼稚園園長の北條泰雅先生に育児の重要ポイントについて伺いました。

### いつの時代でも子育ては親の役割

「自分の子どもを育てること以上に大切なことはありません。」

幼児期の親子のふれあいの時間はとても大切です。

例えば、夜寝る時に親の膝に子どもを抱いて、絵本をゆっくり読んであげてください。大好きな親の声で絵本を読み語られると子どもは聞いた言葉から想像力を膨らませることが出来るようになり、話し言葉も身につきます。字が読めるからと早い時期に一人で読書させても、拾い読み



絵本読んであげるね

想像力を膨らますことはできない場合があります。想像力を身に付けると、思いやる心が育まれ他人を信頼することが出来るようになります。

### 豊かな感情のある子どもに

幼いときに四季折々の草花や木々に触れられる環境が必要です。種をまいて植物を育てたり、畑で収穫を喜んだり、小動物を飼育したりと、自然の営みに触れることで優しさや思いやりの心を育てます。幼児にとってはそれが園庭ですが、これが叶わなかったら、その欠けた部分を補うよう親が配慮して欲しいものです。



虫がピーマンかじったんだよ



ダンゴムシ見せてあげる



人参どうぞ

### 休日は親子の時間を!

週末に親子で出かける光景を見かけます。新しい知識や体験を求めて出かけることも良いでしょう。また、家の中や近くの公園や施設で親子で遊んだり散歩をしたりという、ゆったりとした時間を作るのも良いでしょう。



写真協力:白金幼稚園 (担当/土屋、本城、若生)



## 寄稿

## 熊本地震を体験して

東海大学熊本校舎熊本教養教育センター 教授  
(前・東海大学高輪キャンパス 教授)

福崎 稔



## 熊本地震 前震の体験

東海大学熊本校舎に異動した2週間後、4月14日午後9時26分と、16日午前1時25分の2度に渡り震度6強の激震に襲われました。1回目の地震(前震)の後、大学の様子を見に行きますと、熊本校舎のサッカーグラウンドには多くの方が避難されていました。

余震が20~30分に1回のペースでやってきましたが、そのたびに悲鳴が聞こえていました。地震後2時間ほど経過すると、大学近くに住んでいた学生たちが教職員と共に、備蓄されていた支援物資を手際よく配っていました。私もその作業に加



多くの方が避難しているグラウンド

わりましたが、学生たちの機敏な動きは皆を元気づけてくれました。サッカーグラウンドでは立ち尽くしたままの人が多くおられましたが、次第に落ち着きを取り戻してくると避難された方々が救済活動を手伝ってくださる場面も見られるようになりました。

そのような状態で、避難者からは様々な要望が出てきました。最初に直面したのは寒さ対策です。時間の経過と共に気温も下がってきて、空き箱段ボールを敷物として利用していただくなどできる限り対策をとりましたが、暖を取る支援手段はありませんでした。保管してあった携帯カイロは数個しかなく、子どもさんを中心にお配りしたようですがまったく足りません。最低限の備蓄品としてもっと多くの携帯カイロを加えておくべきだと痛感しました。

その後、大きな問題になったのはトイレの不足です。簡易トイレは提供していましたが、瞬間に使用できなくなりました。こういった事態になったのは、近隣からの避難者の数を少なく見積もっていたからだと思います。もちろん大学が避難所の役割を拒んでいたわけではありませんが、すぐ隣に小学校があり、そこが指定避難所になっていたのです。しかし発災直後から、避難所は人があふれた状態でした。そこから人々が大学へ逃れてきたのだということも分かりました。このことは大きな反省点として今後の準備に活かすべきだと思います。

たとえ避難所指定されてなくても、広い空間を持っている施設は、不特定多数の被災者への対応を意識した準備が必要です。また地域のすべての人が、日頃から防災・減災に関する活動に取り組むことが非常に重要です。このことで自助、共助を意識した役割分担が迅速に進むと感じています。

## 熊本地震 本震の体験

本震とされた2度目の地震は深夜1時過ぎでした。宙に浮き上がって床に叩き付けられた衝撃が目覚めました。直後に電気が消えて光がなくなりました。辺りでは食器が割れる音、何かが落ちる音が聞こえていましたが、揺れるなかでわが身が転がらないように支えるのが精一杯でした。すぐ前の大きな屋敷の石垣は崩れて歩道を塞いでいました。暗くてよく分かりませんが、前の公園は避難された方であふれていて中に入れない状態でした。ここで話を聞くと、益城町、阿蘇の被害が甚大であることを知りました。この本震で、断層の上に位置する多くの建物が破損しました。ご存じのように東海大学阿蘇校舎、南阿蘇地区そして益城町は、学生も含めて多くの人命を奪



山崩れが起きた南阿蘇地区

ってしまう被害の大きさでした。本震のあと、数日間熊本から阿蘇へ向かうルートが確保できないほどでした。震災後1か月を過ぎても、南阿蘇の建物は崩壊した状態のまま、小学校の校庭にはおびただしい量の

ガレキが積み上がっていました。熊本市内から大分へ抜ける国道57号線から分岐した阿蘇大橋は山崩れの直撃を受けて跡形もありませんでした。すぐ脇の畑には何本もの地割れが出来ていて、今でも崩れてしまいそうでした。

ここで以前から知っている阿蘇校舎の学生に会うことができました。彼らの実家は阿蘇ではありませんが、倒壊した下宿やアパートの片づけを手伝い、南阿蘇の皆さんを元気づけるために活動を続けています。また彼らは口々に阿蘇で生活し、阿蘇校舎で早く学びたいと力強く語ってくれました。自分たちの故郷と同じような思いで、強い絆で結ばれていることを確信しました。

一方、熊本市中心部の被害は幸いにも少ないというのが第一印象でした。私の住んでいる地区は、建物の被害も少なく2時間ほどで街灯がつかまりました。それでも断水は続きましたので、避難生活を強いられている方は大勢おられました。ところが建物は崩れていなくても、屋根瓦は崩れ落ちてブロック塀はいたる所で崩れていました。建物こそ残ってはいますが中に入ることができない「注意」「危険」診断の注意が貼られていました。それでも、そこに住むしかない方々はたくさんおられます。高台から遠くを見ると、遠くまでブルーシートで覆われた家が見えます。建物は地震に耐えこしましたが、被害がなかったわけではないことを思い知らされました。

ご承知の様に熊本城は石垣や櫓が崩れて、天守閣の瓦もほとんど落ちてしまっています。水前寺公園入口の鳥居も落ちてしまいました。復旧までの道のりは遠く感じます。



地震で壊れた水前寺公園入口の鳥居

## 復興支援

こんな状況で被災された方々に少しでも元気になっていただきたいと思い、熊本キャンパス近くの避難所である西原小学校で炊き出しを行うことにいたしました。この計画にいち早く賛同して支援の手を差し伸べてくださ



ボランティアで集まった方々

たのが、うかい雅彦港区議会議長からご紹介いただいた佐藤容紹さんです。佐藤さんの声掛けで、ボーイスカウト有田第一団、ボーイスカウト伊万里第一団、第八団の皆さん、有田町教育委員会、佐賀県庁医務課、伊万里市役所、西南学院大学、売れるネット広告社、さらに東海大学基盤工学部医療福祉工学科の木村達洋先生の声かけで集まった総勢40名の学生さんたちに関わりました。その中には九州ルーテル学院大学、熊本学院大学、熊本駅前看護リハビリテーション学院、健軍神社の皆さんも加わっていただきました。

また、この炊き出しでは有田焼のどんぶりや茶碗を400個ほど提供していただき、被災者の皆さんにお配りして暖かい食事を楽しんでいただきました。

地震で食器がほとんど割れてしまった方々に大変喜ばれました。2日間だけの炊き出しでしたが、ここで繋がった方々とともに、災害に強い町づくりを目指した活動を展開したいと考えています。東日本大震災被災地の皆様からもご声援を頂きました。多くの皆様にご指導を賜りながらこれからも頑張っていります。



提供された有田焼

## 編集部より

東海大学の福崎稔教授は今年の3月まで、高輪キャンパスにおられ、高輪地区で様々な地域活動に貢献されていました。4月に熊本校舎に異動になり、直後に熊本地震に遭われました。「みなとつぷ」編集室では福崎先生の貴重な体験談の執筆をお願いしました。大変な事態の時、ご執筆ありがとうございました。

(担当/安藤、太田、吉田)





# 区からのお知らせ

毎週水曜日は午後7時まで受付

※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。区民課窓口サービス係 ☎5421-7612 / 保健福祉係 ☎5421-7085

## この街のために、できることから一緒に始めませんか？ 高輪地区生活安全・環境美化協議会

高輪地区の「あんしん・きれい」を目的として、高輪地区（三田4・5丁目、高輪、白金、白金台）に住み、働き、活動する92の団体、企業、官公庁で構成された地区最大の組織です。

### 4つの専門部会が活動しています

パトロール専門部会

道路・公園専門部会

自転車・バイク対策専門部会

環境美化専門部会



このTシャツを着て活動しています!!

### 参加はどなたでもできます!! メンバー募集中!

- 高輪地区の企業や任意のグループなど、単位の大小は問いません。
- 活動への参加は、負担のない範囲でかまいません。可能なものから参加してください。
- 参加に費用はかかりません。活動に必要なものは協議会で準備します。

#### 今後の活動予定

- |    |            |    |          |     |                 |
|----|------------|----|----------|-----|-----------------|
| 7月 | 夏の間夜間パトロール | 9月 | 交通安全啓発活動 | 10月 | 小学校通学路点検        |
| 8月 | 打ち水大作戦     |    |          | 11月 | 文化財周辺クリーンキャンペーン |

【問合せ】協議会事務局：高輪地区総合支所協働推進課 協働推進係 TEL：03-5421-7621

## 予告 子ども記者を募集します!

「あっぷリング高輪フェスティバル」の開催に合わせて、「みなとつづ子ども編集室」が開設されます。日ごろ、みなとつづの企画編集に参加している編集メンバーたちのサポートのもと、子ども記者がフェスティバルの取材や記事（原稿）を作成します。



子ども記者が作成した記事は、本紙第32号（平成29年3月発行予定）に掲載する予定です。

- 日時** 11月12日（土）午後1時から5時30分（予定）
- 対象** 高輪地区の子どもたち（小学校1年生から中学校3年生まで）  
※記事の文章（簡単な作文程度）を作成することができること。
- 募集人数** 数名程度（小学生の場合は保護者の付き添いが必要です）
- 募集方法** 詳細は、港区ホームページや広報みなと（9/11号）に掲載する予定のほか、公共施設等で配布するチラシをご参照ください。（9月中旬ごろ予定）

【問合せ】高輪地区総合支所協働推進課 地区政策担当 TEL:03-5421-7123

## 商店街の魅力伝える「白金高輪にぎわいマップ」をお配りします!

買い物するなら地元の商店街で

Going shopping? Visit our local shopping streets.

高輪地区総合支所管内の8商店会が載っている「白金高輪にぎわいマップ」を作成しました。8商店会とは、白金商店会、白金北里通り商店会、白金プラザ会、プラチナヒルズ商栄会、魚らん銀座商店会協同組合、高輪泉岳寺前商店会、メリーロード高輪、高輪台商店会です。この地図では、商店会加盟店の「お店の人」の魅力を発信しています。この機会に、お店の人を訪ねてみませんか？今まで知らなかったお店の一面を知ることができるかもしれません。お買い物をしてスタンプを集めれば、8商店会で使えるお得な商品券がもらえます!

配布開始 8月中旬

配布場所 高輪地区総合支所、白金台・白金・豊岡・高輪いきいきプラザ、高輪区民センター、高輪図書館、8商店会

### スタンプを集めて商品券をもらおう

地図で紹介されているお店でお買い物をして、スタンプを8つ集めて応募していただくと、毎月抽選により1等20,000円（1名様）をはじめとした8商店会で使える商品券と、応募者全員に参加賞として500円分の商品券をお渡しします。  
※8商店会の中で、商品券が使えるお店については、配布する地図又は「白金高輪にぎわいマップ」のホームページをご覧ください。

白金高輪にぎわいマップの専用ホームページが、8月中旬頃に開設します。 ※詳しくは、広報みなと8/11号をご覧ください。

【問合せ】高輪地区総合支所協働推進課 地区政策担当 TEL：03-5421-7123



## 高齢者向け給付金（年金生活者等支援臨時福祉給付金）の申請はお済みですか？

低所得の高齢者への支援として、「高齢者向け給付金（年金生活者等支援臨時福祉給付金）」を支給します。対象となる方には、4月25日（月）に申請書を発送しております。申請受付は7月29日（金）までとなっておりますので、申請がお済みでない方はお早めにご提出ください。

**対象者** 平成27年度臨時福祉給付金対象者（平成27年1月1日時点で港区に住民票があり、平成27年度分の区民税（均等割）が課税されていない方）のうち、平成28年度中に65歳以上になる方  
※区民税が課税されている方の扶養親族等や生活保護制度の被保護者は対象になりません。

**支給額** 支給対象者1人につき3万円

**申請方法** 申請書に必要事項を記入の上、必要書類を添付し、同封の返信用封筒で返送してください。直接提出する場合は、芝地区総合支所に設置されている臨時受付窓口にお越しください。

※受付時間：平日（土曜・日曜、祝日は除く）午前8時30分～午後5時（水曜日のみ午後7時まで）

給付金に乗じた振り込め詐欺や個人情報の詐取に注意してください。



【問合せ】保健福祉支援部保健福祉課 臨時福祉給付金担当 TEL：03-3578-2846

本紙のバックナンバーは港区ホームページ（高輪地区総合支所のページ）からもご覧になれます。 みなとつづ バックナンバー

### 編集だより

- ▼人間国宝の友枝先生のお話から、能の持つ魅力の一端を垣間見ることができました。いつか、厳島神社での能を鑑賞できたらと思います。（安藤）
  - ▼街のなかには、私たちが気付かないものがまだまだあり、祠もその一つです。人の記憶にあるものを書き記す意味も感じました。（太田）
  - ▼地域に残された祠がいかにか大切に守り伝えられてきたのか、お話を伺い改めて神への畏敬の念を感じました。（吉田）
  - ▼神を祀る小規模な歴史に満ちた祠が、高輪地区において、素朴な信仰が保たれているとは、嬉しいですね。（明石）
  - ▼不調和であるはずの歴史ある祠と近代的な建物不思議と共存していることに高輪の魅力が強く感じる号となりました。（有地）
  - ▼地元で45年近く住んでいると自負していましたが、我が家の隣のことも知りませんでした。まさしく大久保利通邸がそれでした。（伊関）
  - ▼今回は取材には参加できません、編集のみの参加でした。その時の都合で無理なくできるのも、この情報紙活動のメリットだと感じました。（梶）
  - ▼桜の木々に囲まれた素敵な外観、HUG高輪を見学しました。保育園も介護施設もさまざまな工夫があり、とても居心地がよさそうです。（滝川）
  - ▼取材で幼稚園を訪れ、子どもたちが遊びの中からも様々なことを学び取っている様子を垣間見ることが出来ました。（土屋）
  - ▼学生編集委員として春から参加させていただきました。次号は取材にもより積極的に関わりたいです。よろしくお願ひします。（戸部田）
  - ▼4月から新しく編集メンバーに加わりました。日々の生活に寄り添い、心がほんのり豊かになるような情報をお伝えしていきたいです。（佐藤）
  - ▼初めて編集に参加させて頂き、港区のことをもっと知りたいと思いました。この道には何があるのだろうと、寄り道が増えました。（中込）
  - ▼もしも乳幼児全員に育児手当が支給されたなら、保育園待機という言葉があるだろうか？親の本心は、自分の手許で子育てしたいのでは？（本城）
  - ▼インタビューの前に本を読んだり、友人にレクチャーを受けたりして、にわか勉強をしましたが、バレーでした。ご容赦を。（松島）
  - ▼30号という節目の発行に携わることができて嬉しく思います。これからもご愛読よろしくお願ひします。（森）
  - ▼編集部としての立場から地域を見ると、今までとは違った一面を見つづけることが出来ました。（若生）
- 区民編集メンバー**
- |               |        |        |
|---------------|--------|--------|
| 安藤 洋一（チーフ）    | 伊関 則子  | 戸部田 伊織 |
| 太田 則義（サブチーフ）  | 大内 紅葉  | 中込 有香  |
| 吉田 由紀子（サブチーフ） | 梶 昌夫   | 本城 光子  |
| 明石 美穂子        | 佐藤 雅子  | 松島 佐紀子 |
| 阿部 はるか        | 滝川 まりえ | 森 裕子   |
| 有地 夏鈴         | 土屋 和夫  | 若生 愛香  |
- ※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。